

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障がい者スポーツ演習 Adapted Sport therapy		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(選択・資格課程必修(初級障がい者スポーツ指導員))	前期障がい者スポーツ論履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤 秀治	本館2F	授業内で指示する		授業中に指示します
授業の概要				
車椅子の操作練習やゴールボールなどを体験し、スポーツを通して学習する。これらを体験することで障がい者スポーツの世界を知り、さらに外部講師の選手との交流を通して、障がい者スポーツに取り組んでいる人々への理解を深める機会とする。				
授業の目標				
①障がい者がスポーツを行う難しさを体験することにより、自らが指導する際の指導方法をより実践的にできるようにする。 ②障がい者がスポーツを行うことによって、新たな生活への喜びになることを対象者に伝えることができるようにする。 ③障がい者スポーツについて理解を深めることで、障がい者へスポーツの楽しさを伝えることができるようにする。				
授業の方法				
校庭・体育館やプール等による実習。および障がい者との交流を体育館で行う。				
学習の成果(学習成果)				
①障がい者スポーツの知識を得ることで、スポーツ指導の際に介助や手助けを自ら率先して行うことができる。 ②障がい者との交流により、体力面での困難さやその困難さを乗り越える精神面に触れることで、障がい者への支援にあたることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	障がい者の理解とスポーツ①車いすで屋内・屋外を移動してみる			
第2回目	障がい者の理解とスポーツ②車いすで素早く動いたり、回転したり、段差を越える			
第3回目	障がい者の理解とスポーツ③車いすでバスケットをやってみよう			
第4回目	障がい者の理解とスポーツ④非利き手でトレーニングしてみよう			
第5回目	障がい者の理解とスポーツ⑤(水中運動) 場所:佐野日本大学高校室内温水プール:浮力や水圧を利用して自由に浮く・泳ぐ			
第6回目	障がい者の理解とスポーツ⑥(水中運動) 場所:佐野日本大学高校室内温水プール:片麻痺・下肢麻痺・上肢麻痺・盲目になって泳いでみよう			

第7回目	障がい者の理解とスポーツ⑦車いすで出来るスポーツをやろう「ロード」「バスケ（試合）」「卓球」
第8回目	障がい者の理解とスポーツ⑧車いすで出来るスポーツをやろう「バドミントン」「テニス」
第9回目	障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）「シットバレー」「STT」
第10回目	障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）「バドバレー」「ゴールボール」
第11回目	障がい者との交流（実技）外部講師との交流
第12回目	障がい者との交流（実技）外部講師との交流
第13回目	障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）「卓球」「バドミントン」
第14回目	障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）障がい者スポーツについての調査
第15回目	障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）自分で障がい者スポーツを考え、実践、発表

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	授業に対して積極的に興味を持って参加し、用具の準備や掃除・片づけなどを行えるか？
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	障がい者スポーツを色々な手具を活用して工夫し、ルールを作成して皆に伝えて実施できるか？
その他		

教科書と参考図書

教科書：「障がい者スポーツ指導教本 初級・中級」（財）日本障がい者スポーツ協会編
 授業担当者より適宜指示または資料を配布する

履修上の留意点・ルール

初級障がい者スポーツ指導員資格取得必須科目です。教室への食べ物の持ち込み、携帯電話の使用を禁止します。